

仲間づくり

生きがいづくり

大好きひたちづくり

シニアライフを

豊かに生きるために

熟年



熟年ネット・ひたち



今後の更なる
発展を期して

「創設15周年記念セミナー」を開催

去る12月17日、ホテル天地閣において「熟年ネット・ひたち」創設15周年を記念して会員45名、会友7名の参加と来賓3名の方々をお招きしてセレモニーを開催した。当日は掛札代表の挨拶や来賓のご挨拶、さらに創立15周年を記念して作成した記念誌をもとに創設当初から当会のこれまでの活動経過についての説明があった。その後、恒例の年末交流会を行い会員同士、来賓の方々と交流を深めた。

15周年記念の挨拶と報告

代表挨摞

掛札代表からはご自身の活動経験も含めてJinet活動の効果とを述べられた。創設の経緯、楽習会の仲間づくりや、自主活動、特にボランティア活動における「ハーマニーフレンズ」の成果を紹介された。さらに当会の目的は、第一に新しい人が地域にソフトランディングできること、第二に自分の気持ちを向上させることができることとサムエル・ウルマンの「青春」の詩を引用して述べられ、第三に人生を豊かに生きることであり、この3点を今後も大事にして欲しいと結ばれた。

続いて「15年を振り返って」と題して代表から創立の経緯、J-netの理念、楽習会活動、自主グループ活動の成果、会報やホームページの変遷、シニア講座の活動

状況などについて写真と図で項目別に説明された。多くの会員は当会の歴史がよく分かったことと思う。

來賓「挨摑」

来賓の女性政策課若林課長からは、女性センターにおけるこれまでの Jinet の活動と協力に対し感謝のお言葉があり、これからも Jinet の経験と能力を十分に發揮して欲しいとの要望があった。また、日立市社会福祉協議会小室事務局長からは、Jinet のすばらしい地域活動の成果を挙げられて今後もシニアの先輩として大いに期待する旨の激励のお言葉をいただいた。



年末交流会

交流会は鳥海さんの司会で行われ、畑山副代表の挨拶、来賓ご挨拶、新入会員の紹介の後、藤本さんの音頭で乾杯が行われた。

その後、会員同士や来賓との和やかな懇親にひと時を過ごした。

アトラクションとして①ハーモニーフレンズ②Jネット・オカリナハート③ケーナなどの自主グループの演奏があつた。さらに「365歩のマーチ」の曲に合わせてスクエアダンスをやったりジャンケンゲームを行ったりして宴が盛り上がった。

最後に桑名さんの音頭で三本締
を行い散会した。



年頭の挨拶

創設16年目を迎えて

代表世話人 掛札 優

皆さん 新年あけましておめでとう御座います。明るく希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

さて、会員・会友の皆さんが苦勞を重ねながら15年育ててきたJ-netは、自立した素晴らしい市民活動グループとなりました。私は、心から誇りに思っています。

このJ-netの価値を「J-net効果」として私自身で考えますと、パソコンで覚えたパソコンは、私にとってなくてはならないものとなっています。また、地域社会が成り立っているのは女性のおかげであることを実感すると共に、男性もその気になればお役に立つ活動が出来ることを確認できました。これは非常に大切なことです。その他沢山ありますが、何よりも、多くの仲間が出来るに充実した豊かな人生を送れていることです。皆さんも色々得たものがあると思います。如何でしょうか？

J-netが素晴らしい市民活動グループとなったのは、皆さんが心を込めて活動をしていることです。心をこめれば、「ありがとう御座います」の気持ちかわき、気の許せる「仲間づくり」が出来るのです。このことは非常に大切なことです。その結果、多くの自主（ボランティア）活動が生まれたのです。

このようなグループは、作ろうとして容易に作れるものではありません。盆栽のように地道な努力を重ねたことで出来たのです。皆さんのご努力に感謝いたします。

J-net 16年目を迎えて、皆さんとこの素晴らしいグループを誇りを持って発展させて行きましょう。ご協力を宜しく願います。最後にになりましたが、皆様とご家族のご多幸をお祈り申し上げ年頭のご挨拶と致します。

2009年 主なニュース

☆「グループ・ピニオン」市社協表彰

平成16年3月発足以来、シニア健康センター「しおさい」を毎週水・木曜日（木曜は平成19年以降）に訪問し、利用者の方々とのお話し合い、オカリナ演奏などを行い、福祉の向上に寄与したとして日立市社会福祉協議会から表彰を受けた。

☆「おもちゃの病院」知名度向上

一昨年のNHK水戸局地デジの放映と昨年は常陽藝文や定年時代に掲載され、市外や県外にも知名度が上がった。また、ホームページの充実と相まって県外からも修理依頼があった。

☆「Jネット・オカリナハート」

プロジェクトを導入

常陽銀行の「江橋長光記念高齢者福祉基金」とみずほ銀行「みずほ教育福祉財団」の助成金を受けプロジェクトとパソコンを導入した。オカリナ演奏で歌詞を表示するのに使用する。画面が明るく小型・軽量で、今後の演奏活動に有効な機材となる。

☆J-net 新ロゴマーク制定

創設15周年を機に新ロゴマークを制定。J-netの青は日立の海、背後の弧は日立の緑豊かな山々、希望の虹、J-net活動の広がりなどをイメージしたもの。（一面右上参照）

☆J-net 15周年記念誌発行

創設15周年に当たり、今までの諸先輩の活動を振り返ると共に、今後の活動の道しるべとする。

楽 習 会

武田氏のルーツを学ぶ

(11/12)



現在のひたちなか市が甲斐武田氏の発祥の地であると初めて発表し、史学博士でもあり、日立郷土博物館館長の志田諄一さんに、ご講演をお願いしました。

資料9ページの講演では難解な箇所もあったが、後年、武田氏の子孫は代々、上杉氏に仕え米沢に居住したこと等も知った。また、興味深かったのは、武田信玄の子孫である武田茂さんが、水戸に住んで居て97歳になられる事など。また、楽習会に先駆け、11月3日に武田祭り(第3回)がある事を知り、担当者有志で見学に出掛け、武者装束で整列する勇姿を写真に納め、当日プロジェクターで掲示した。

(出席者 33名) (鳥海 良子)

日本の伝統美を身近に

(12/10)

「日本の伝統美を身近に！」をテーマに、着物リメークリストの才丸先生に現代風にリメークされた作品で、会員の女性をモデルにファッションショーを行い、作品の紹介と解説をいただいた。日本古来の絹織物の“生地と染色”“地色と柄”の美を損なうことなく独創的なデザインとモデルさんに男性陣の拍手がわいた。

後半は5テーブルに衣装のままでモデルが加わり茶菓子で和やかに懇談、男性モデルも登場し楽しい内に伝統美を身近にすることができた。(小林 勇作)





ボランティア・自主活動



グループ・ピニオン 市社会福祉協議会より表彰

10 月 29 日に多賀市民会館ホールで日立市社会福祉協議会(以下市社協)主催の「ふくしのつどい」が開催され、同時に市社協会長顕彰式が行われた。この席でグループ・ピニオンは積極的にボランティア活動に参加し、福祉の向上に寄与したとして表彰された。

「しおさい」での活動は、市社協の一部関係者からは高い評価を受けてきたが、このような形で表彰されたことはグループ会員にとって大変光栄なことであり、今後の活動の励みになる。(桑名 勇児)



Jネット・オカリナハート 学童クリスマス会に参加

12 月 25 日金沢小学校学童クラブのクリスマス会に「おかれオカリナ」演奏を行った。小学校 1、2 年生 24 名が参加、新型インフルエンザ予防のためマスクをかけている子が多い中での演奏であった。知っている曲と一緒に歌ってくれたが、悪戯したりそれぞれ勝手に遊んでいる子もいて扱いが大変だと感じた。

演奏終了後 4、5 人のテーブルに分かれ一緒にケーキとお茶をいただきひと時を過ごした。

(土屋 昭夫)



なるてす会 新しいスタイルを求めて

第 3 回なるてす会は 8 月 6 日藤本さんから野菜(南瓜、インゲン豆、キュウリ、トマト等)の提供を受け好評であった。第 4 回は 10 月 8 日に計画していたが台風で中止となり心掛けていた方には大変御迷惑をお掛けした。10 月 18 日には「女性センターまつり」に日ごろの活動状況を皆で製作し市民の皆さんに見て頂いた。第 5 回は日程を繰り上げて 11 月 26 日に実施し、書籍は芳しくなかったが日用品や新鮮な野菜は手にとって頂いた。この野菜は安藤さんが里美の畑から譲り受けた大根 16 本で、翌朝の大根おろしは美味しかった。2010 年、今年は皆さん方のご協力を得ながら新しいスタイルを考えたい。

ご支援をお願いします。

(藤崎 圭一郎)



ハーモニーフレンズ 心のこもった礼状

昨年 8 月成沢交流センターで演奏した時短歌風な礼状をくれた方がいた。

- ・登場するハーモニーフレンズ 5 人 心のリハビリ拍手で迎える
- ・ハーモニカのリズムに乗って 20 数曲 乙女ごころに大きな拍手
- ・月の砂漠 長崎の鐘 湖畔の宿 人生に涙あり 我の生きすぎ
- ・わが楽しみは暑さ忘れる交流センター 海の風さえ仲間のような
- ・お互いに励ましあってリハビリ体操 「ハイ OK」の血圧測定
- ・輪になってワンツーワンツー介護予防 45 名の顔の輝き

今年もさわやかな礼状をいただけるよう頑張ろう。(鈴木 重四郎)



J&Bグループ 大事な子育て支援活動

我々が子どもの頃は、兄弟 3~5 人くらいいて、兄弟同士で上の子が下の子の面倒をみるのが多かった。野山・川などの自然で遊び、多少の怪我はあったものの、比較的安全が保たれていたと思う。

少子化社会の現在は、日常の安心安全な場所を探すのは大変困難な状況にある。

こんな中、親子が安心して交流できる場「おもちゃライブラリー」は大事な役割を担っていると思う。

この思いで今後も支援活動を続けたい。(山本 三男)



ウォーク会 北茨城・花園周辺散策

雨天のため延期した 11 月 15 日は、前日と打って変わって好天に恵まれ、北茨城「七ツ滝」「花園溪谷」を散策した。「七ツ滝」は、落差 85m で名前の通り 7 段になって落ちており、一見して全貌を見ることはできなかったが、周りの紅葉とのコントラストが良かった。

花園神社では七五三が行われていたこともあり、周辺は大変な賑わいであった。

一方「花園溪谷」は、予想に反し比較的空いていて、雨上がりの色鮮やかな紅葉をのんびり楽しめた。(山本 三男)



おもちゃの病院 新年の抱負

ひたちおもちゃの病院の活動は、発足以来 6 年半を経過した。当初はおもちゃライブラリーの壊れたおもちゃを教材に試行錯誤を経てスタートして以来、扱ったおもちゃの診療カルテが 1,100 件余りに達している。その 90% 以上が直って動き出しお喋りしたり音が鳴り出して、少なく見ても 500 人以上の子どもたちに喜びをプレゼントできたものと思っている。

最近、強力なマスメディアの取材報道で市外はもとより県外からも宅配便による依頼があり、各家庭の使い捨てからエコライフへの意識改革は、我々のニーズを拡大するはずである。

市外のドクター仲間を増やすこと、合わせて病院設立の支援を是非実現してみたい。(小林 勇作)



坂本 節子

早いものでまた1年が過ぎてしまいました。今年も年明けと共に皆さんと一緒に勉強をしたり、また楽しんだりしていきたいと思っています。今年もJ&Bと塙山交流センターのおもちゃライブラリーをやっていたらいいなと思っております。

五月女 五美枝

新年の抱負と言えは新しいことにチャレンジすることですが、私は今年始めるのではなく、切り捨てていこうと思っています。今のところ三つくらいは止めようと思っています。J-netは間違いなく残る方には入っていますけれど。

三浦 かつえ

J-netに入会して3年「シニアライフを豊かに生きる」そんなテーマにひかれての入会だった。
仲間の後姿から多くを学んでいる。楽習会は欠席がちで反省しているが……。一泊の研修旅行、生まれて初めての「座禅」が体験できた。家族旅行とはひと味違う一泊の旅、楽しかった。2010年何を体験できるか期待すると共に全会員の最良の年であるように年頭に祈念します。

高尾 一男

昨年は、初詣でのおみくじで「大吉」を引いて幸先よいスタートを切った。年の暮れにはきららの里から朝日に映える富士山を望むことができて充実の一年を締めくくることができた。今年はアンチ・エイジングを心がけて何事も歳のせいにはしないそんな日々を送ろうと思う。

於曾能 富寿子

新しき年に思うことは、食生活に気を配り、よく寝て疲れをためず、できるだけ運動をして健康を維持し、笑顔と感謝の心を忘れずに、過ごしたいと思っております。

藤本 欣正「喜寿を迎えて」

企業戦士を卒業し、毎日が日曜日となって15年、今年は喜寿と金婚の二重のお目出度を一応健康な状態で夫婦一緒に迎えることが出来そうです。家庭菜園を続けられる体力を維持し、時々2人で旅行をして楽しもうと考えて居ます。

富田 滋男「初夢」

“長き夜の遠の眠りの皆目覚め波乗り船の音の良きかな” この歌は前から読んでも、後ろから読んでも同じ音になる回文歌。この歌を折り紙に書き船の形に折って、正月2日の夜に枕の下において寝ると良い初夢が見られると親父から教わり、子供にしてやったことを思い出す。今年は良い夢を見たいもの！

鳥海 良子「22年の目標」

年々、健康の事を考えるようになりました。寅年生まれの父は、95歳で亡くなった。私が子供の頃、良く聞かされた言葉「早寝早起き、腹八分」。簡単と思えそうな事が私には難しい。先ずそれを目標にしたい。



新春を迎えて

— 会員よりの一言 —

桑名 勇児「自己“change”に挑戦」

昨年はアメリカでも、日本でも大きな“change”があった。その結果が見えてくるのは今年以降であろう。期待したいものである。
私は何も変わらなかったが、今年自分自身を変える努力をしてみたい。「チェンジは他人(ひと)に求めず われ変わる」川柳風に表現してみたが、難題だけに後期高齢に近づきつつある頑固頭では所詮無理かも。

佐藤 弘「こころはいつも若者」

J-net みなさんの多方面での大活躍に大きな拍手を送ります。
熟年研究会当時みんなで議論した方向が、着実に実行されていることに、会友としてある種の感動も覚えます。これからも何かに役にたっている実感、自らは生きがいを感じながら目を輝かせて、こころはいつも若者。更に輝くDiamond-ageを実現していきましょう。

小林 勇作・美津江
「絵手紙年賀状」

鈴木 君子

私にとって入会の門出。J-netは15年の歳月が過ぎましたね。15年皆様それぞれの活躍をなさっての力強い行いは、素晴らしい分野の出来事と感じました。健康でいる自分も細やかなお手伝いを望み、そして共に有意義な人生を過ごしたいです。

佐藤 一男「とにかくがんばろう」

ハイキングを今年は月に1度は実行したい。JR東日本主催の「駅からハイキング」は日時・コースの指定はあるが、団体行動でなく参加者の体力に応じてマイペースで楽しめるのが大いに気に入っている。その町の景観・歴史に触れられるのがたまらない魅力である。

鈴木 重四郎

元気が一番、体につけて次世代に残すことを心がけたい。

岩本 浩「今年の目標」

昨年は各種グループ活動(16Gr)への参加が多く、運動不足により体重増加、メタボ、血圧の上昇と反省している。今年は、体重3kg減、腹囲5cm減、血圧値の縮減が目標。
特に血圧については、病院で測定すると異常に上昇するのはなぜか？(白衣恐怖症?) 今年食生活の改善と運動に努め、健康第一で目標達成に努力していきたい。

和田 克夫「ひたち市民カレッジ」

本年も6月から「ひたち市民カレッジ」第3期を開講します。できるだけ多くのシニアの方に市民活動に参加いただければ、日立も元気になると思います。

三ツ井 義弘「つながり」

今更ながら、人は一人では生きて行けない、支えあう仲間がいてこそだと強く感じている。これ、「つながり」というのかもしれない。
今年も出来るだけ進んで仲間の輪を広げ、仲間とのつながりを大切にしていきたいと思っている。

堀 三千男「夢・心」

昨年、諏訪中央病院名誉院長鎌田實氏の講演を聴いた。その会場で、鎌田氏の書いた本が売られていたのので2冊購入した。それぞれの本の見開きに、本人が「夢」と「心」というサインをしてくださった。いい「ことば」だと思った。

鈴木 敏子

昨年の暮れ、宇宙飛行士の野口さんが長期滞在のため飛びました。私の心はまたまた宇宙で一杯になっています。そして今年は「日立村物語」を読んで学習し、今から桜の開花を楽しみにしています。今年は皆さんの後ろを歩いて、結果は体重計に期待で～す。

尾沼 信義「私の心の拠り所」

今や、J-net は私の心の拠り所です。加齢に抵抗して飛び回っていますが、疲れたら J-net へ戻り、活力を蓄えてまた飛んで行きます。今年は今までより更に飛距離を延ばし、そして健康年齢も延ばして行きたいものだと考えています。

宮下 郁朗「新人です、お願い致します」

J-net に入会させて頂きましたが、右も左も分からずオタオタしています。いろいろ助けて下さい。最近、自分が鈍くなったことを感じさせる事が重なって少々落ち込んでいます。年相応と言う人もいます。遅効性で結構ですので良い対策法を知りませんか？

山本 三男

昨年、「笛の会」の名称で J-net 仲間 5 人でケーナの自主練習を始めた。夏季交流会、年末交流会などで演奏させて頂いたが、まだまだ未熟。今年は、演奏依頼が来るようなグループになりたいと夢をみている。

重田 堅伍

毎年『今年こそは』と目標を立てながら達成せず経過してしまっただけ。『今年こそ』老木に鞭打ち、胸に描いた夢に向かって頑張る所存です。

土屋 昭夫「体温と健康」

低体温は免疫力を低下させガンや、感染症、肥満などの原因になるそうである。日本人の平均体温が 36℃ を切る人が増えているそうである。今年は食事、運動など生活習慣を改善して 36℃ 以上を維持するように努力したい。

榊原 愛正

昨年 5 月の定年と同時に J-net、ひたち市民カレッジ、男性合唱団に入ると共に、短時間の仕事を得、かなり多忙な感じがしたがやっとペースが掴めて来た感じがしている。楽習会や市民カレッジを通して学ぶ楽しさを知ったが、今年は微力であっても何らかの行動で、お役に立ちたいと考えています。

加藤 勝「大過ない毎日！！」

好きな事に頑張っているが、思っているような結果が出ないと気も萎える。そして何となく日々過ぎて行く、これが日常なのか。

その日の積み重ねが結果を生み、しっかり過ごす事で生き甲斐も価値も生まれるのかなと思う。今年は結果に拘らずに気長にマイペースを通したい。

福田 常実「元気で山登り」

定年後、健康のために始めた山の会での山登りがまだ続いている。その間、家庭の事情や自身の体の故障で、退会や休会の会員を随分みてきた。幸い、私は何とかこれまで病気もせず無事過ごしてきた。

今年も元気で楽しい山登りができるよう、さらに健康管理に努めたい。

藤村 克人

一昨年は女房の還暦記念で「ホノルルマラソン」に行った、3 年後は自分の古希記念で再度行くことにしている。

ところが、昨年秋におそった腰痛はなかなか完治しない！「加齢」が要因か？ 対策・予防は「腹筋等」の簡単な筋トレの継続だそうだがなかなか守れない。今年は、この「筋トレ」の習慣づけをしたい。

山野 邦雄「八方美人で頑張るぞ」

① J-net、百年塾、いちご会、ゴルフ（日立シニア会、64 会、ジニア会、和朗会、月例など）等々 既にキャパを超えつつあるが全方位でもう一年頑張る。

② 74 オエージシュートを目標に土台作りの年となるよう身体と技のアップグレードを図る。

平田 恵美子「新年の抱負」

歳を重ねる度に感じる事は、健康で過せることの素晴らしさとありがたさです。

今年も趣味・ボランティアが出来る幸せに感謝の心を忘れずに行きたいと思います。

また、「一生勉強 一生青春」（相田みつを作品集より）という言葉が好きです。

**畑山 和子
「木版画年賀状」****藤崎 圭一郎「自分の歴史を残す」**

今年は自分史を残したいと思う。平成 14 年に嶋野さんから「自分史の作り方」を学んだ。何を書いたらよいか？ 半生記型か体験記型か？

我々の時代は「戦争、仕事人間、定年後の生きがい」について多くの頁を使うことになるだろう。下書きの年表に肉付けし自慢史にならないようにと思っている。

平田 順一

昨年 11 月、急に体調がおかしくなったが大事に至らずに治まり、食生活上の注意を守りながら定期的な通院チェックを続けている。

今年は、体調の管理を最優先としてあまり頑張らずに、家族や仲間の皆さんと楽しく平穏に過ごしたい。

高山 紘夫

退職後は「健康でありたいと願っている」人への願いの実現をお手伝いしたく、4 年前に整体院を開業。昨年は治療の幅を広げる勉強を仕事しながら東京通い。今年は「ヘルニアの影響による腰痛の改善」に挑戦したく、笑顔の患者さんが増えることを願ってまたまた東京通い。

湯澤 昭一「チャレンジ」

新しい事に挑戦するチャレンジ精神が、このところ衰えてきたと実感している。

小さな事でも良いから、今年は今までやらなかった、やれなかった事を数多く積極果敢にやっていきたいと思う。



インフォメーション



楽習会 (1~3月)

月日	楽習テーマ	場所
1/14	落語を聴く	女性センター
1/28	介護保険の仕組み	
2/11	井戸端会議(第5回)	福祉プラザ
2/25	皆で考えよう J-net	女性センター
3/11	僧侶の話を聴く	
3/25	高齢者の健康	

平成22年度 楽習会テーマ募集

2月25日(木)に開催する第22回楽習会「皆で考えよう J-net」では、平成22年度の楽習会年間活動計画の検討を行う予定です。

つきましては、それに先立って平成22年度の楽習会テーマを募集します。新規、リーピートは問いませんので、提案内容(①テーマ名、②内容、③開催時期など)をまとめて、楽習会担当(平田順一)宛にメールまたはメモで、2月20日(土)までに提出してください。

また、楽習会の運営などについてもご意見があれば提出をお願いします。

耳寄りの情報

●血液サラサラ

PPK でありたい人が最も心配しているのは脳の病気である。この防止には血液サラサラが重要であり、ウコンが効果的と言われている。スーパーなどで簡単に手に入る「ターメリック」という粉末を牛乳に少量振りかけ、毎日飲むことが良いそうです。(TV 情報)

●電子イオン水

水道水にはカルシウムや塩素が含まれているので湯沸しポットを詰まらせる原因となる。スーパーなどで無料で汲める電子イオン水ではこの現象は出ない。

女性センターの催し

ライフセミナー (3回講座)

- ① 2/16(火)常磐大学 砂金祐年さん
「男女共同参画 古きをたずねて今を知る!」
- ② 2/23(火)「伝えよう! 男女(あなた)の思い私の思い」
- ③ 3/2(火)吉田正記念館 見田良雄さん
「歌おう! 思い出の歌に込めて」

【編集後記】 「一年の計は元旦にあり」とは昔から言われている。皆さんの年頭の一言(4面、5面)を読むと、何らかの目標をあげているのが6割、元気で楽しく過ごせるようにというのが3割、その他が1割となっている。若い頃は具体的な目標であったでしょうが、シニアでは(3日坊主の可能性を避けてか?) 漠然とした目標になっているようである。またほとんどが自分に関するものであり、望むらくは他者への働きかけが欲しいところである。ともあれ J-net の皆さんは人生を謳歌していることが窺える。(編集子)

リレー随筆

地球温暖化防止

湯澤 昭一

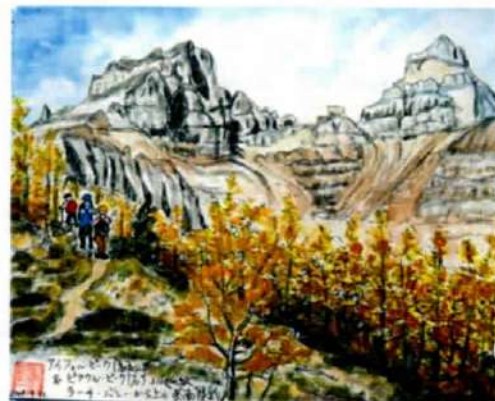
3年前に縁があって、会員 50 人規模の山のグループに入れて貰い月 1 回の定例山行に参加し、更に海外遠征にも参加するようになった。平成21年は、企画、立案、計画、リーダー役の実行まで任され、4件の山行を実施し、充実した年になった。その内の1件は、カナディアンロッキーのトレッキングである。

日系人唯一のカナダ山岳会会員である K 氏にガイドを依頼し、4箇所をトレッキングしたが、何処も素晴らしく、氷河を抱く雄大な山々、黄金色に色づいた木々と真っ青な空を眺め乍らの山行だった。

ロッキー山脈の9月の気温は高く、9月25日のカルガリーは、36℃のインディアン・サマーになった由。レイク・ルイズから3000m 峰のビクトリア山の尾根中腹から見たビクトリア氷河は、年々溶けてこの5年間で、高さが50m 位低くなったと、聞かされた。

時々「ドドッ」と氷河が溶けて、崩れ落ちる音がしている。地球温暖化が早いスピードで忍び寄っている

のが実感された。この調子でいくと、カナディアンロッキーの氷河は、20年後には全部無くなってしまわないかと心配した。



ロッキーのスケッチ

12月17日、コペンハーゲンで開催中の COP15 で、温室効果ガス削減にむけて協議をしているが、中国、アメリカが相変わらず非協力的なのは、非常に残念である。鳩山首相は「地球益」を重視して、COP15 首脳会議に参加すると強調していたが、是非地球全人類の将来を左右する温暖化防止にむけて、頑張っ欲しいと念願する。

発行：熟年ネット・ひたち

代表世話人 掛札 優

編集：広報委員会

住所：〒317-0072

日立市弁天町 2-12-10

Tel/Fax : 0294-21-1345

E-mail: jnet-hitachi@lapis.plala.or.jp

http://www10.plala.or.jp/j-neth/